

鳴り石の浜プロジェクト

地域の宝に自分たちの手で
魅力を足していく



ひまわりの苗を植えていく
メンバーや地域住民ら

東西約500メートルに渡り、大小の丸石が広がる

毎年8月、浜に咲き誇る2千本のヒマワリは阪神大震災をきっかけに広がった「はるかかのひまわり絆プロジェクト」のもの。今では種まきから苗植え、開花まで地域住民を巻き込んだ活動に発展した。また、夏至に一番近い土曜日に開催する「鳴り石祭り」は毎年約千人が訪れ、地域の宝を再確認する恒例

のイベントとして定着している。現在、最も熱いのが「ストーンバランシング」。浜にある不安定な石を積み上げる石積みアートは好評で、カメラを持って浜を訪れる人も多い。写真映えする夕暮れ時を狙う人も目立つ。フェイスブック上ではコンテストも開催中だ。環境保全活動もおろそかにしない。メンバーや住民らが清掃活動に汗を流し、浜の魅力を大切に育てている。



浜ではストーンバランシングを楽しむことができる

環境保全活動もおろそかにしない。メンバーや住民らが清掃活動に汗を流し、浜の魅力を大切に育てている。



鳴り石の浜に足を運んでくださる観光客や活動に賛同してくれる新たなメンバーなど、活動を続ける中で、出会う。喜びが、さらなる活動を展開するモチベーションにつながっています。

Voice

リーダー
馬野 慎一郎さん

